

協働通信

今回は、まちづくり市民活動支援センターに市民団体として登録し、市内外で三味線の演奏活動をしている「鶯音の会」取材しました。



■庶務担当の大場さん(左)、指導の木崎さん(中央)、代表の東山さん(右)

◆「鶯音の会」の立ち上げについて

最初は、八朔祭りの屋台囃子を演奏するために「三味線教室」が開かれました。早馬町・仲町・新町の3町より合わせて約30名が集まり、平成14年11月に練習を開始(下町は翌15年に参加)しました。みんな初心者ですから、最初は正座が辛くて大変でした。

三味線は音色を出すのが難しく、11月から練習を始め、翌年9月の八朔祭りでの演奏は無理と言われていたのですが、舞台上で演奏したいという熱意で、どの町も間

に合わせることができました。

八朔祭りのための三味線教室としては、約5年間練習を続け、各町での指導もできるようになったので一旦終了しました。その折、さらに技術を向上させたいというメンバーで「鶯音の会」として活動を始めました。



■演奏会では「鶯音」と書かれた揃いの法被を着ます。市の鳥であるウグイスに因んで「鶯音の会」と命名。

◆日頃の練習や地域での演奏について

お稽古は週に1回、まちづくり交流センターやぴゅあ富士でしています。演奏活動としては、八朔祭りの各町での屋台囃子の演奏のほか、年一回の演奏会を開催しま

▽都留市まちづくり市民活動支援センター
都留市中央3-8-1
都留市まちづくり交流センター
▽開館
火～日(祝日除)
8:30～17:15
▽問い合わせ先
mail: shien@city.tsuru.yamanashi.jp
☎(43)1321
FAX(43)1322

◆今後について(代表の東山さんより)

八朔祭りの屋台囃子演奏で子どもたちが活躍していますが、私の町では子ども数が減っていることが気がかりです。このままでは高齢化が進んでしまうので、なんとか若い世代につなげて、地域の伝統芸能を守っていききたいです。

現在、4町の屋台では、それぞれのカラーを出した演奏が行われています。楽器の編成、演奏する曲、衣装など町ごとに特徴があります。それぞれの町の個性を伸ばし、お互いに切磋琢磨しながら楽しくお八朔を盛り上げていきたいです。



す。「吉田歌舞伎」や「大幡歌舞伎」のお手伝いやぴゅあ富士フェスティバル、聴き合いコンサートなど様々なところで演奏をしています。
長唄の数々や端唄など多くの曲を習得し、最近では市内介護施設から演奏のお招きがありましたので皆さんで合唱できる唱歌などもレパートリーに加えました。



「鶯音の会」に関するお問い合わせは、下記へご連絡ください！
代表：東山 孝行
連絡先：☎(43)2570

地域のお知らせ

谷村地域

夢実現ひろば

「エ」による生活を楽しまう!!

日時 3月24日(木)13時～16時

場所 城南エコビレッジ(川棚地内)

内容 ピザ&パンづくりと試食

材料費 一人300円

問合先 まちづくり交流センター

☎(43)1321